

2024年11月14日

博報堂研究デザインセンター 生活者発想技研から、  
メタバース生活者たちと共にメタバースの未来を考える  
「メタバース生活者ラボ™」を設立

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）は、メタバース空間における新しい生活者価値の創出と、イノベーションを生み出すことを目指し、研究員全員がメタバース生活者当事者によって構成されたコミュニティ型プロジェクト「メタバース生活者ラボ™」を設立しました。

## メタバース 生活者ラボ™

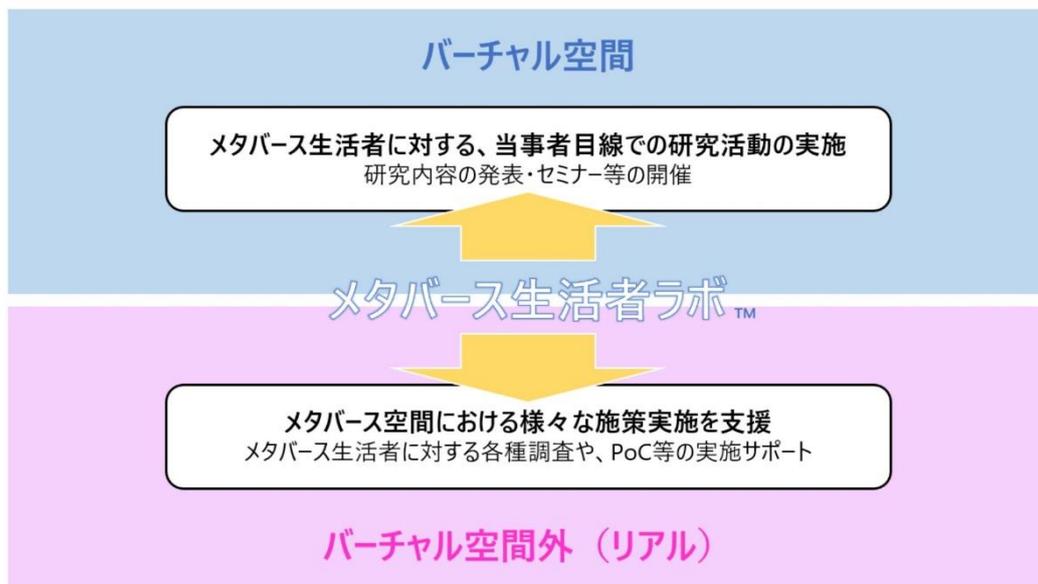
「メタバース生活者定点調査 2023（株式会社博報堂DYホールディングス実施、インターネット調査、n=3,525）」によると、2023年の国内におけるメタバースサービス利用率は現在8.4%と、推計687万人が「メタバース生活」に関与していることがわかります。さらに、今後のデジタルサービスの進展によって、メタバースサービスとの接点が現在以上に増え、フィジカルとデジタルの融合と往還がより日常的になっていくことが予想されます。そうした環境のなか、メタバース空間上で接する相手との関係やメディア、使用するデジタルツールに応じて、ますます多面的な自己像・自分らしさとともに生きていくことになるであろう「メタバース生活者」について、より深く理解することが、当社の「生活者発想」およびクライアント企業のマーケティング・イノベーション支援にとって重要になると考え、同ラボを立ち上げました。

メタバース生活者ラボ™では、以下2つの活動を通し、メタバース空間ならではの「生活者発想」を実現し、クライアントがメタバース空間上で事業・コミュニケーション等の活動を実施する上で必要となる各種サポートを行ってまいります。

- ① 当事者目線を通じた、メタバース生活者の行動および、メタバース空間における新しい生活者価値に関する研究活動の実施。研究内容の発表・セミナー等の開催。
- ② メタバース生活者と企業の「よい関係の橋渡し」を目指し、メタバース空間における様々な施策実施を支援。メタバース生活者に対する調査の設計・実施や、メタバース空間上でのPoC実施やイベント開催のプランニングから運営までをサポート。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 三矢・高橋 [koho.mail@hakuodo.co.jp](mailto:koho.mail@hakuodo.co.jp)



※本ラボにおける「メタバース生活者」は、「バーチャル空間上で、自身のアバターやキャラクターを通してコミュニケーション等の行動を実施する」すべての生活者を対象としています。

メタバース生活者ラボ™は、博報堂の研究開発組織である博報堂研究デザインセンター生活者発想技術研究所（以下、生活者発想技研）が運営します。研究員としては、生活者発想技研の所属員に加えて、博報堂DYホールディングスのマーケティング・テクノロジー・センターのメンバーや、国内最大級のメタバースプラットフォームであるクラスター株式会社の社員も参画しています。今後さらに、社内外を含めたメタバース生活者の当事者であるラボメンバーの拡大を予定しています。

当事者目線だけではない、彼らの豊富な経験と専門知識を活かし、メタバースにおける新たな生活者価値の発見と生活者体験を提案してまいります。

#### ■ ラボリーダー



瀧崎 絵里香 (Erika Takizaki)

博報堂研究デザインセンター 生活者発想技術研究所 上席研究員  
 博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所 上席研究員  
 博報堂若者研究所 研究員

2015年入社。メタバースを中心とする自らのデジタル生活体験・交流経験を生かした「当事者研究」の視点を大切にしながら、「デジタル生活者発想」をキーワードに、SNSやメタバース等のデジタル空間ならではの生活者の意識・行動を研究中。メタバースやSNS等のデジタル接点を活用したサービス開発やコミュニケーション戦略立案にも従事。

所属する「博報堂若者研究所」「メディア環境研究所」とも連携し、メタバース生活者以外の若年層との接点や、メディアとしてのメタバースの未来の研究なども行っていく。

#### ■ 博報堂研究デザインセンター 生活者発想技術研究所

クライアント企業の生活者発想を推進するための研究開発を行うことを目的に、2024年9月に設立された専門組織です。

「未来生活者発想」をコンセプトに、「生活者発想経営」「フォーカス型生活者洞察」「生活者心理・行動」「ウェルビーイング社会の共創」「生活者発想に基づく創造性」等に関する、研究・開発・教育・発信を行ってまいります。

【関連リリース】 <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/111845/>

#### ■ マーケティング・テクノロジー・センター

マーケティング・テクノロジー・センターは、競争力の「源」や、ビジネスの「素」を生み出すことを目標に研究開発を推進する博報堂D Yホールディングスの研究開発部門です。データサイエンス領域の基礎研究、マーケティングサイエンス領域の応用研究や、XRなど先端技術研究など幅広い活動をおこなっています。

#### ■ クラスター株式会社

誰もがバーチャル上で音楽ライブやカンファレンスなどのイベントに参加したり、友達と常設ワールド（バーチャル空間）やゲームで遊ぶことのできるメタバースプラットフォームを展開しています。スマホやPC、VRといった好きなデバイスから10万人が同時に接続することができ、これにより大規模イベントの開催や人気IP（Intellectual Property・知的財産）コンテンツの常設化を可能にしています。クラスター株式会社では、様々なコンテンツ制作・運営を実施し、全く新しいエンタメと熱狂体験を提供し続けています。

<https://www.biz.cluster.mu/>